

楓通信

10-11月

奥日光を愛する皆様に
旬な情報を伝えたい

ヤマブドウの紅葉

奥日光に訪問されたお客様の声

お知らせ

三岳が噴火して、湯ノ湖ができたのはいつですか？
日本人男性
＊下野新聞の記事によりますと、約 6,000 年前の噴火の時という話のようです。

湖で泳いでいるニジマスと、魚屋で売っているサーモントラウトが同じ魚とは、驚きました。
日本人女性

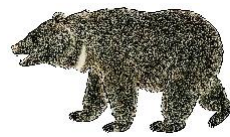
小田代原のアザミ群落が復活して、久しぶりに良い風景を見ました。
日本人男性

遠い故郷を思い出すような、森と湖の風景が好きです。
デンマーク人男性

湯元温泉から登る白根山は、本当に手強かった。でも、大満足です。 日本人男性

奥日光では倒木を多く見かけますが何故ですか？
日本人女性
＊なるべく自然に手を加えないよう、倒木をそのままに放置して、森のサイクルに任せています。

奥日光は自然豊かな クマ(ツキノワグマ)の 生息地です



奥日光では、クマの目撃報告が毎年多数あります。活動時期には、いつでも遭遇する可能性がありますので、ハイキング等で野外に出る際には、クマに出会わない工夫をしましょう。

危険を避けるために(概略)

- ・クマは一般的に臆病な動物なので、クマ鈴等を付けて音を鳴らし、人の存在を知らせる。
- ・早朝や夕暮れ時の散策や単独行動を避ける。
- ・誘引源となるので、ゴミを捨てない、埋めない。
- ・クマを目撃した時、好奇心でカメラを向けたり、大声で騒いだり、子グマに近寄ったりしない。
- ・万一遭遇した場合、クマを刺激しないようその場を離れ、静かに逃げる。

森のギャラリー



入場無料！ 自然写真展

カメラを通して触れた奥日光での自然体験を、写真と短歌で立体的に表現。

黒川 宏 さん

撮影場所 奥日光
展示期間 10月1日～14日

◆森のギャラリーとは
ビジターセンターに隣接する、飲食可能な休憩所です。
また、どなたさまも無料で展覧会等にご利用いただけます。ご予約は当センターまで。
TEL 0288-62-2461

当センター開館時間

10-11月
9:00～16:30 (無休)

秋のハイキングについて

この時期は、夏と違い日照時間が短くなります。10月は、冬の1～2月頃と同じ日没時間なので、紅葉に酔いしれる山歩きも早目に終えて、疲れた体を温泉で癒すのも、秋の楽しみ方ですね。また、急な冷え込みに注意し、寒さ対策も忘れずに。

【表紙の話】

見事に赤く染まったヤマブドウの葉。空から舞い落ちた葉一枚の、鮮やかな紅色に思わず見入ってしまった。
白い雪の季節を前にして、燃え尽きる前の一瞬の命の煌きを見た…そんな想いでした。

編集後記

湯元温泉から近い場所にある秘境・蓼ノ湖。まるで日本庭園のような趣を見せる美しい湖周辺には、昔からのゴミが散在し、美観を損ねていた。ある晴れた晩夏、センター職員二人でゴミの除去に向かった。シロヨメナ咲く畔を一周して、空き缶や酒瓶等を回収したが、その搬出時、思いがけない重さに苦労した。この自然環境を平気で汚すのも人間、また守るのも人間。鹿から笑われないよう人間自らの行いを戒めて、いつまでも奥日光の自然を守りたいものです。(M・K)

楓通信 No.125

日光湯元ビジターセンター発
-奥日光の自然情報誌-

2016年10月1日発行
次号 12月初旬 発行予定

隔月発行 一部 100円
年間購読料 1,000円(送料込)

年間購読のお申込み

氏名・住所・電話番号を明記の上、郵便振替にて自然公園財団宛に購読料をお支払いください。年途中からでもどうぞ！

ゆうちょ銀行 振替 No. 00370-3-7232

一般財団法人自然公園財団日光支部
〒321-1662 栃木県日光市湯元 日光湯元ビジターセンター内
TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

奥日光 歳時記 7月中旬-8月下旬

台風が発生が記録的に少なかった夏から一転、8月下旬から台風が連続して北海道・東北に上陸して猛威を振るった。幸い奥日光に災害もなく、涸れていた白根沢の清流が戻り、湖沼の水位も上がり始めて、通常の姿に戻ろうとしている。このまま紅葉シーズンを迎え、いつものように沢山の観光客を迎えたいと願っている。



2016.7.17 日光パークボランティアが保護活動の一環として丹精こめて育てた、湯元スキー場のヤナギラン



2016.7.24 緑白色の花を咲かせる妖艶なおオウバユリ



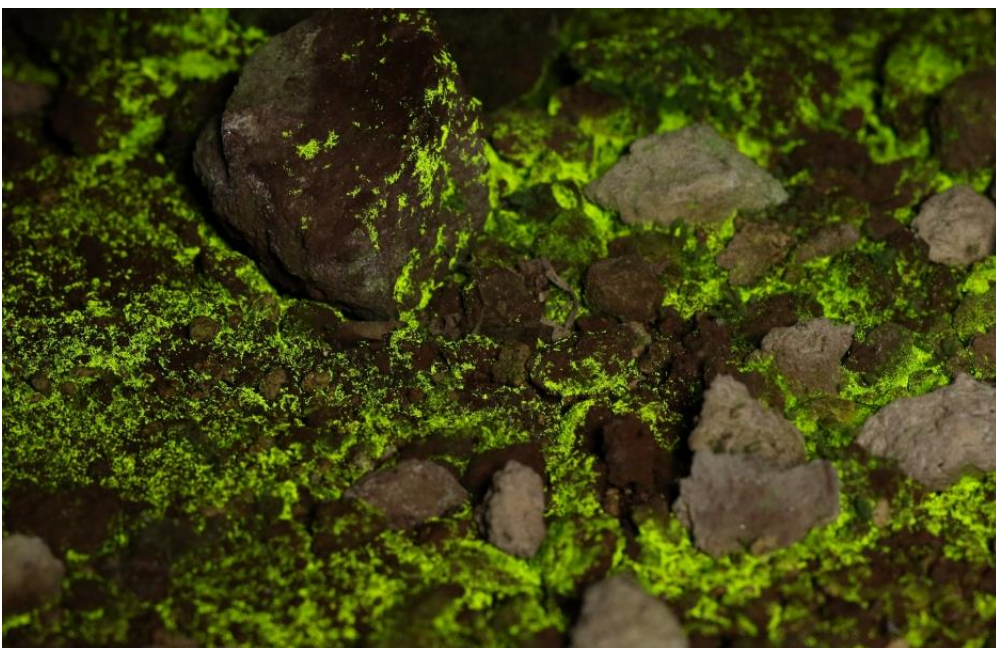
2016.8.6 湿原の夏の主役ホザキシモツケ



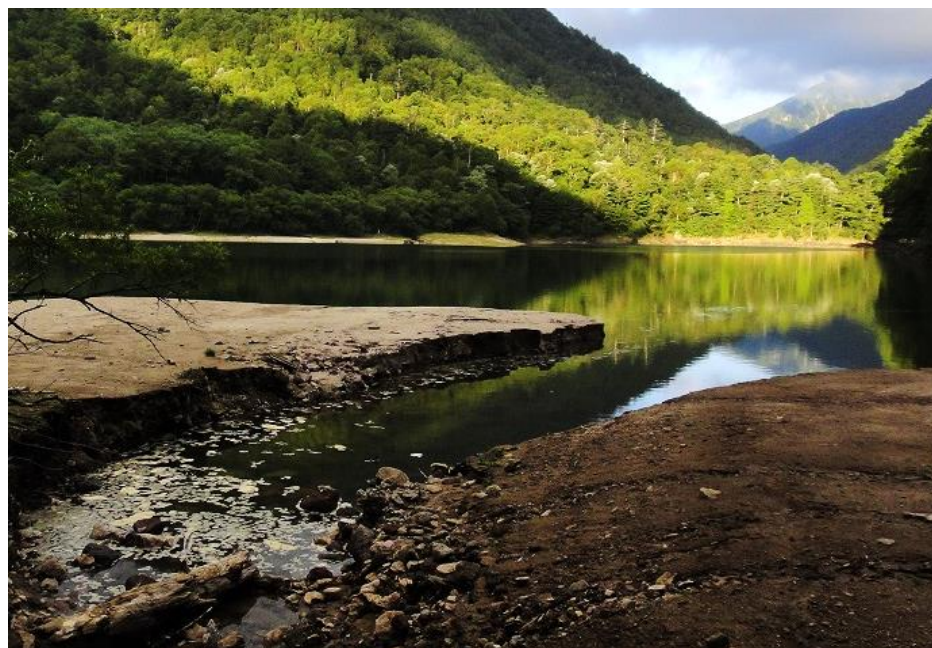
2016.7.14 淡い青色の層を成すクガイソウ



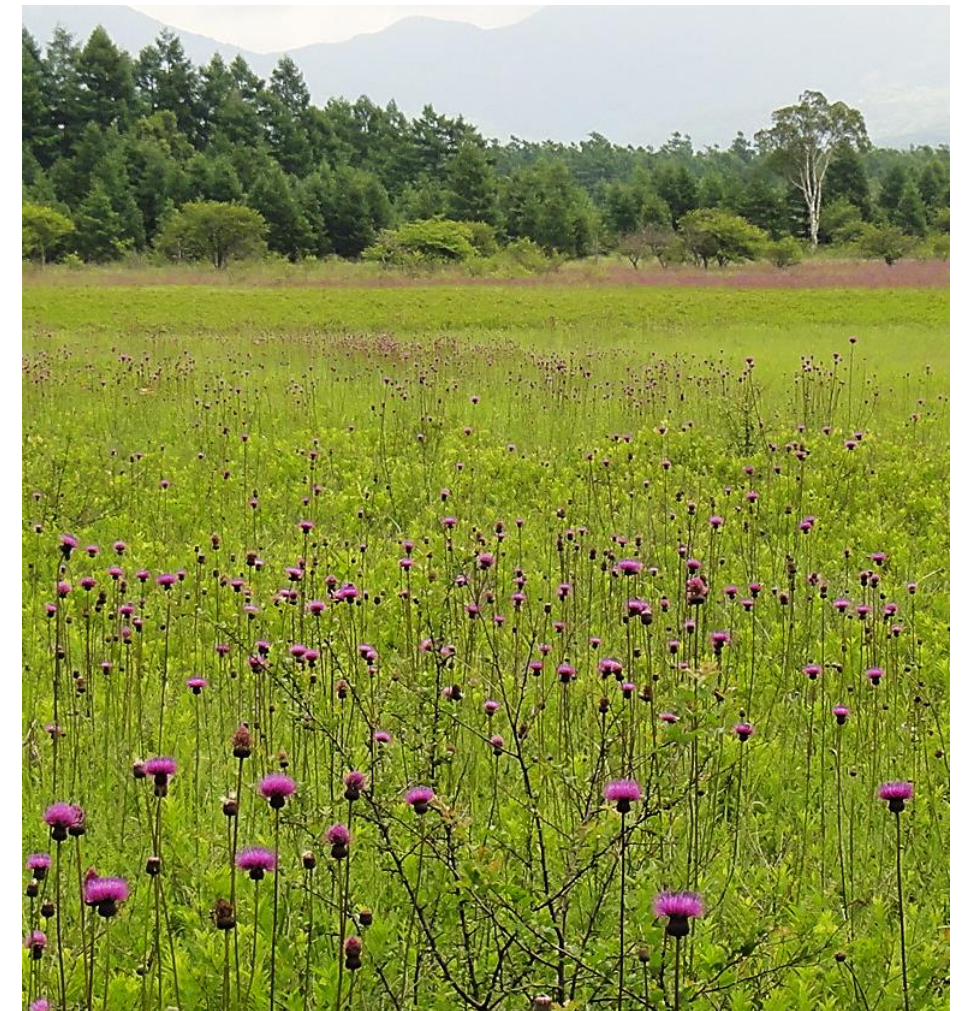
2016.8.21 蓼のうみ 蓼ノ湖の畔に咲くシロヨメナ



2016.8.11 涼しげにきらめく小峠付近のヒカリゴケ



2016.8.31 台風 10 号が去り、ようやく水位が戻ってきた刈込湖

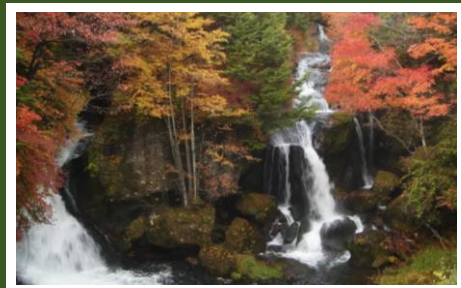


2016.7.20 小田代原湿原を紅色に染めるノアザミの花

先取り 自然情報 10-11 月

標高の高い奥日光は紅葉も美しく、
湿原・瀑布・湖沼が織り成す風景は
さながら一幅の絵を観るようです。

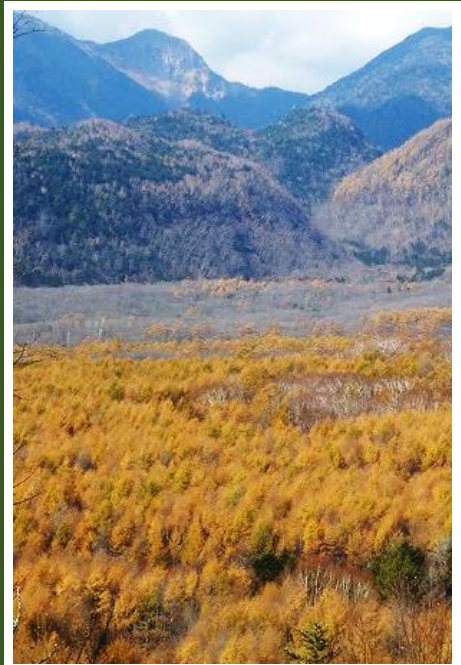
10-11 月 彩りの秋から冬の訪れ



竜頭滝 10 月上旬頃



湯ノ湖 10 月中旬頃



カラマツの黄葉(光徳周辺) 10 月下旬頃



ツタウルシの紅葉(中禅寺湖南岸) 10 月中旬頃



カラマツの霧氷(小田代原) 11 月初旬頃

10-11 月頃からみられる冬鳥



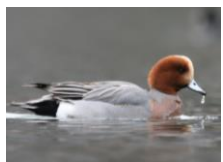
レンジャク類

キレンジャク(写真)は尾羽先端が黄色で、ヒレンジャクは赤色です。共に冠羽が立派で、凛々しくみえます。飛来数は年によりバラツキがあります。



ツグミ

シベリア方面から、越冬のため群れをなして飛来します。平地でもよく見るポピュラーな鳥ですが、雪原の戦場ヶ原では、また違った趣があります。



水鳥

湯ノ湖では 10 月からヒドリガモ(写真)、キンクロハジロ、オオバンなどが見られ、11 月からホシハジロなどが加わります。双眼鏡をお忘れなく。



オジロワシ

全身が褐色で尾羽の先が白いタカ科の猛禽類。ユーラシア大陸北部から冬に日本に南下します。菖蒲ヶ浜や千手ヶ浜で見られ、国の天然記念物に指定されています。



オオワシ

日本国内で最大級の鷲。全身黒っぽく、橙色で太い嘴、翼や尾羽・足の羽毛等白い模様が特徴です。冬に菖蒲ヶ浜や千手ヶ浜で見られ、国の天然記念物に指定されています。

日光の気象

文◆辻岡……………
気象予報士の資格を持つスタッフが、
毎回 1 テーマを分かりやすく解説します。
……………

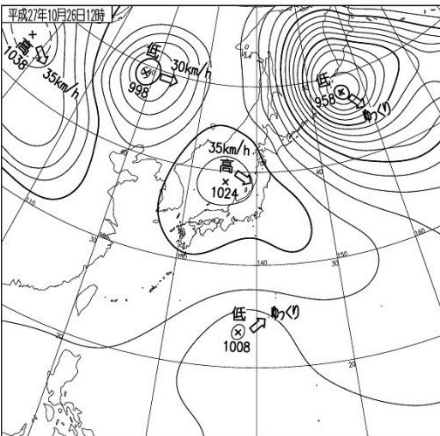
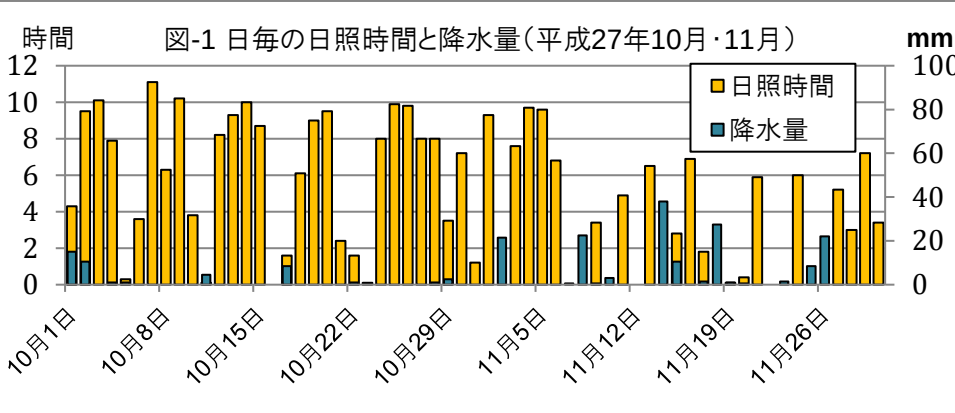
■女心と秋の空

よく晴れた秋の日は、空気が澄み、暑くもなく寒くもなく、一年で最も過ごしやすいときでしょう。そんな日が何日も続いてほしいと思いますが、続くわけもなく数日後には雨になります。秋は移動性高気圧と低気圧が交互に通過するため、お天気は周期的に崩れるからです。いい状態がずっと続いてほしいと思っていたところ、ある日天気が大きく崩れてしまう。「女心と秋の空」とは、そんな秋のお天気を、ある日突然に変わってしまう女心になぞらえた言い回しなのでしょう。

ところで、女心はなぜ変わりやすいのでしょうか。女性は地図を読むのが苦手な人が多いことと関係があるような気がします。地図を読むときのポイントは、地図の上で自分の位置を動かしていくことです。地図の上を歩いている自分を上空から客観的に眺める感覚です。女性は自分が今いる場所を中心に周りを見るので、これが難しいのではないのでしょうか。場所が変わると見える風景も変わり、考えも変わってしまいます。一方、男性にはこのような心の変化はあまりありません。と、このように書くと、女性側からの反論が聞こえてきそうです。それは男性側の一方的な偏見！ すぐに心変わりするのは男の方よ！ と言われそうです。しかし男の場合は心変わりではなく浮気…？

気象を本題とする当コーナーの主旨から大きく離れてしまいました。話を戻します。図-1 は今年の 10・11 月の日毎の日照時間と降水量のグラフです。よく晴れた日が 4、5 日続いた後は雨になっています。特に 10 月は晴れの日と雨の日のコントラストが明瞭で、女心はともかく、天気の方は長続きしないのは確かです。

周期的に天気に変化するの春も同じですが、なぜ秋の空なのでしょう。それはおそらく、春は晴れても空気中に水蒸気や大陸から飛んできた砂塵が浮遊しているため、すっきりした青空ではないからでしょう。秋は大陸がまだ草原に覆われているため、砂塵が舞い上がることはなく、移動性高気圧は澄み切った空気を運んできます。晴れの日が爽やかなだけに雨の日の鬱陶しさが際立つのでしょう。図-2 は典型的な秋の晴天の日の天気図ですが、この日、宇都宮では初霜を観測しました。日中は暖かく快適でも、朝方は急激な冷え込みに襲われることがあります。これも思わぬ心変わりなのかもしれません。ご注意を！



■奥日光の気象情報

2015 年の平均気温・湯元

	10 月	11 月
最高気温	15.2℃	8.4℃
最低気温	4.8℃	1.9℃

※自然公園財団日光支部の記録より

2016 年 日の出日の入(宇都宮)

	10/1	11/1
日の出	5:35	6:04
日の入	17:24	16:44

※国立天文台ホームページより

2016 年 天文情報

	10 月	11 月
新月	1、31 日	29 日
満月	16 日	14 日
10/21 オリオン座流星群が極大		

※国立天文台ホームページより

日光湯元ビジターセンター イベント情報

晩秋の山歩きから雪山の
自然と遊ぶプログラムまで、
今後もイベント盛り沢山！

ルードに歩く晩秋の社山

申込受付中

紅葉も終わり、静けさを取り戻した奥日光の
山岳展望を楽しむ縦走コース。登山が好き
で、足に自信のある大人向けのプランです。

日時：11月6日（日）8:30～16:30

集合場所：立木観音前 歌が浜無料駐車場

コース：半月山バス停～半月峠～阿世湯峠～
社山～阿世湯峠～阿世湯～歌が浜駐車場

参加費：500円（バス代520円は各自負担）

定員：10名（参加資格：登山経験ある成人）



冬のバードウォッチング

申込受付中

冬に湯ノ湖に飛来する水鳥をゆっくり観察。
美しい景色の中でみる鳥たちの姿は格別で
す。野鳥観察の経験がない方もお気軽に。

例年見られる水鳥：オオバン、ヒドリガモ、
キンクロハジロ、ホシハジロ、マガモなど

日時：12月3日（土）13:00～15:00

集合場所：日光湯元ビジターセンター

観察場所：湯ノ湖

参加費：500円

定員：15名



イベントのお問合せ・お申込み

電話・FAXにて次の事項を下記までお知らせください。

①イベント名②氏名③年齢④性別⑤住所⑥電話番号（当日連絡のつくもの）

⑦集合先までの交通手段⑧この催しの情報源⑨前・後泊の有無⑩レンタルの有無

環境省 日光湯元ビジターセンター（一般財団法人 自然公園財団日光支部）
TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

■受付は先着順となります

■小学生以下保護者同伴

■持ち物・服装などは、約1週間前に
ハガキでお知らせいたします

今後の予定

※日時、内容などは天候等により変更される場合があります。
また、詳細な内容は今後、本誌でご紹介します。楽しみに。

●はじめてのスノーシュー

日程：1月14日（土）、2月4日（土）

時間：3時間程度

場所：湯元周辺

スノーシュー未経験・初心者向け。実際に
歩けば、すぐに使いこなせるようになります。



●冬の森スノーシュー散策

日程：1月29日（日）、3月5日（日）

時間：6時間程度

場所：湯元周辺

スノーシュー経験者向け。美しい雪景色
の森で、冬ならではの自然を発見！



●とことん雪あそび

日程：1月22日（日）、2月12日（日）

時間：2時間程度

場所：湯元周辺

さらさらのパウダースノーを自由に使って、
雪原の中で思いっきり楽しもう！



●●●イベントレポート●●●

Pick up

刈込湖ハイキング 8/7（日）9:30～15:30

雨予報だった当日は、そんな気配をまったく感じさせない素
晴らしいハイキング日和。多くの方々にご参加いただきました。

湯ノ湖と同じく、三岳の噴火で誕生したと云われる「刈込湖」。
岩陰できらめくヒカリゴケや沢のハコネサンショウウオ、コマドリ
のさえずりなど沢山の自然とふれあいながら、往復約8kmの山道
を元気に歩き、とても楽しいハイキングになりました。

湯元～刈込湖の往復は、一般的に気軽に歩けるハイキング
コースですが、少しの油断が怪我に繋がりがねません。皆様も
準備をしっかりされて、山歩きを楽しんでください。（ふじもん）

